



patrickstory.ie

私はどこに属しているのだろうか？

私たちが生きる分裂した世界に希望はあるでしょうか？ 人々が感じている強まる孤独感と孤立に対する答えはあるのでしょうか？

パトリックがこの地を歩いてから 1600 年近く過ぎました。アイルランドは当時も分裂されていました。パトリックも、奴隷として買われて最初にここに連れてこられたとき、孤独感と孤立を味わいました。

彼の疎外感がどれほどであったかは想像に難くありません。家族や国から遠く引き離され、故郷とのつながりがすべて無残に断ち切られて、それが何年も続くのです。しかし、驚くべきことに、パトリックは逃げて自分の家族の元に戻った後、この土地に帰ってきて人々と交わりました。彼の孤立感と人々に対する見方を何かを変えたのです。彼は帰属の秘密を知ったのです。

雨に濡れた野原の孤独の中で、彼は自分が想像していたよりも深い帰属意識を知りました。「それで私は心から私の神である主を仰ぎ見ました…父がその子にするように、主は私を守り、慰めてくれました。」

帰属意識のなんと豊かな描写でしょう。「父がその子にするように」

当時の解決策は今も解決策です。私たちは神を知り、神に属するように造られました。この帰属意識は、他のすべての属したいという切望の奥深くにあるものです。私たちの属したいという切なる思いは、神に安らぎを見出します。神を知り、神が私たちを深く喜んでくださること、過去に何が起こったとしても、これから何が起ころうとも、神に属する者であることを知れば、私たちは他のすべてと向き合うように備えられます。

あなたも神に属する者とされることができます。私たちは神から離れて生まれてきました。しかし、パトリックのようにこの神に立ち返れば、イエス・キリストを通して深い受容と帰属意識を知ることができます。

神に属する者は、新しいコミュニティの一員です。さまざまな生い立ち、文化、境遇の人たち、イエス・キリストの福音には変える力があることを経験した人たちのコミュニティです。福音は私たちをそれぞれ個々に変えるだけでなく、神の家族の一員、キリストの兄弟姉妹にします。パトリックはここでそれを知り始めたのです。

神の新しいコミュニティは、天国の前哨基地、破壊された世界が癒される場所、キリストにあって集うあらゆる生い立ち、文化、境遇の人たちが属する場所です。

孤独の世界の中で、属することができる場所があります。ここには、互いの重荷を担い合い、愛し合い、歓迎し合い、祈り合うように神に召された人たちが集うところです。

パトリックの喜びは「何千人もの兄弟姉妹」でした。キリストに信頼することで、あなたもその家族の一員になれるのです。